

西工新聞 Break Through

2020. 5. 12(火)
R2-01号
兵庫県立西脇工業高等学校
新聞部

令和2年度

1学期スタート

4月8日(水)、在校生に対する説明会を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策として、2学年、3学年と時間差で登校し、校内放送により各教室で行いました。昨年度末からコロナの影響で休校が続き、体育館に集まる事ができず普段の始業式とは違う状態でしたが、新年度のスタートとして気持ちを切り替えて毎日をご過ごしてほしいと思います。



校長より

今、新型コロナウイルス感染症の影響により、オリンピックが延期になりましたが、すでに代表となる事が決まっているアスリートたちから多くのコメントが寄せられています。いろいろな不安や葛藤、もどかしさなどが当然あると思いますが、皆非常に前向きなことを発信しています。困難な状況に立ち向かうことで、自分が成長できるといふ発想をアスリートたちはみんな持っていると感じました。物事の考え方で私たちの成長の度合いは大きく変わってきます。是非皆さんもそのような考えをもって、この状況に対応してもらいたいと思います。

令和2年度 第60回生入学

4月8日(水)午後、新入生への説明会を開き、入学許可を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症が流行している影響で、予定を大幅に変更して行いました。

西脇工業高校は今年度より、電気科、機械科2クラス、総合技術科、ロボット工学科の5クラスとなり、新入生は190人となります。新入生代表が宣誓をし、高校生としての決意を新たにしました。



今年も変わらず満開でした。



校長より

本校では、「自律 創造 誠実 勤労」の生徒綱領のもと、教育哲学の道を切り開かれた、森信三氏が唱えた「時を守り、場を清め、礼を正す」を基本的な生活習慣確立の生活三原則としています。「相手を尊重する」、「他者に配慮ができ、謙虚である」、「自分を律する」など、そこに込められた様々な意味をきちんと意識しながら、本校での3年間を過ごしてほしいと願っています。そうしていくことで自分の信用を積み重ね、大きな苦難がきたときに、しっかりと対応できる力が身に付きます。また、信頼できる仲間や応援してくれる仲間とともに歩むことで、皆さんのこれからの人生がより豊かなものになっていくと考えます。

皆さんの本校での3年間、それらを実践しながら、様々なことにチャレンジし、次へのステージへ大きく羽ばたいていくことを大いに期待しています。

新聞部より

今年度も「西工新聞BreakThrough」をよろしくお願いいたします。第1号の発行が遅くなってごめんなさい。

新学期が始まって早々に休校となり、もう一か月以上。学校はとても静かです。いつも賑やかな教室も元気がいっぱいグラウンドも体育館も...とても寂しく感じます。早く皆さんに会いたいです。学校という場所は、やっぱりみなさんが輝く場所なのだなど改めて感じました。

元気に過ごしていますか?体調は崩していませんか?なにか心配ごとはありませんか?少しでも不安を感じたら、学校に相談してください。

新聞部 部員も募集中です。

よろしくお祈りします。

《事務》

花房 佑樹さん

《ロボット工学科》

川口 大翔先生

《総合技術科》

藤原 宏樹先生

《機械科》

大西 紀矢先生

《理科》

来田 三千博先生

《国語》

東影 あさひ先生

本年度より本校に着任された先生方

残念ですが、着任式、離任式ともに中止となりました。離任された先生方からメッセージをいただいておりますので、次号に掲載させていただきます。